

耕平代表は会見で「われわれは建設的に憲法改正を議論すべきだとの立場だが、拙速な見直しはいけない」と語りました。

こんな総理いらない！

軍事費膨らみ生活しぼむ 2018 年度政府予算案

安倍政権が 22 日に閣議決定した 2018 年度政府予算案は、歯止めのない大軍拡への危険な一歩を踏み出す一方で、生活保護や医療・介護など社会保障ではサービスの削減と国民にいつそうの負担増を押し付けています。安倍首相が総選挙で公約した「幼児教育・保育無償化」も先送りにするなど国民の願いに冷たく背を向けた予算案です。

米の要求うのみ、米国製武器を大量購入 軍事費大增額

北朝鮮の核・ミサイル開発問題を利用し、日米同盟を絶対視してトランプ大統領による米国製武器の大量購入要求にそのまま応じる安倍政権のもとで、大軍拡が加速し、軍事費は過去最大を更新しました。

- ① 北朝鮮情勢に対応するためとして、弾道ミサイル防衛関連経費は 1365 億円に。陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」導入のため地質測量調査費や基本設計費など 7 億 3000 万円を新たに盛り込みました。
- ② 「島しょ防衛」を理由に、将来の敵基地攻撃能力保有の布石となる、長距離巡航ミサイル「JSM」の取得経費 21 億 6000 万円を計上。「高速滑空弾」や「対艦誘導弾」の技術研究費も計上し、攻撃能力の向上を狙います。
- ③ 米国製の高額兵器の購入もさらに膨張。米国からの有償軍事援助（FMS）に基づく購入額は 4102 億円と、2017 年度から 506 億円も増えました。



昨年、今年と墜落事故が連続した垂直離着陸機オスプレイ（4 機 393 億円）、F 35A ステルス戦闘機（6 機 785 億円）、無人偵察機グローバルホーク（147 億円）などを購入。イージス艦に搭載する能力向上型の迎撃ミサイル「SM3 ブロック IIA」の取得に 440 億円をつけています。

「イージス・アショア」は米ロッキード・マーチン社製で、日本の戦闘機に搭載するため 3000 万円の調査費が盛り込まれた射程 900 キロのミサイル「JASSM」「LRASM」も米国製。導入が進めば、米国製兵器購入額がさらに増大します。

- ④ 「地元負担軽減」を口実に基地強化などを図る分の「米軍再編関係経費」は、17 年度比 150 億円増の 2161 億円で過去最高。沖縄に関する特別行動委員会（SACO）関係経費が 51 億円、米軍「思いやり予算」が 1968 億円と、米軍関係の三つの経費を合わせた額は 4180 億円に達しました。
- ⑤ 住民の反対の声が上がっているにもかかわらず、南西諸島への自衛隊の増強を進め、警備部隊配置のため鹿児島県の奄美大島の施設整備に 156 億円、沖縄県の宮古島の施設整備に 261 億円を盛り込んだほか、同県の石垣島の用地取得経費などに 136 億円をつけました。
- ⑥ 2019 年度以降に支払いが生じる新たなツケ払い（新規後年度負担）額は、2 兆 1164 億円となりました。

このように「戦争する国」づくりに向けて、特定秘密保護法、戦争法、共謀罪法を強行成立させ、さらに憲法 9 条改憲をすすめるようとする安倍政権は、アメリカと一緒に海外で戦争するために、実戦に向けて、トランプのいうままに米国の武器を買い、軍事費を増大させています。国民の生活を苦しめ、政治を私物化し、軍事優先の政治を推進する安倍首相には辞めていただくしかありません。

野党各党 歯止めのない軍拡に走る予算」等と批判

立憲民主党の長妻昭代表代行は談話を発表し、敵基地攻撃に転用可能な長射程巡航ミサイルの導入関連費を「日本が堅持してきた専守防衛の観点から精査する」としています。また、民進党の足立信也政調会長も「国会での議論もなく唐突に計上され、論点や問題点は多い」とする談話を出しました。日本共産党の小池晃書記局長は記者会見で「国民の暮らしに冷たいアベノミクスを推進し、歯止めのない軍拡に走る予算案だ」と批判しました

各地のとくくみ

神奈川 県内各地で 3000 万人署名・宣伝行動

神奈川憲法会議浅川壽一事務局長の報告によりますと、神奈川県内で全国 3000 万人署名が旺盛に取り組み、学習会も開催され、安倍 9 条改憲阻止に向けたとくくみが広がっています。

神奈川での全国 3000 万人署名のとくくみでは、12 月 16 日に桜木町駅前で、ユナイトと憲法共同センター合同で署名と宣伝行動が取り組み、24 筆の署名が集約。民進党真山参議院議員、共産党あさか由香予定候補が訴えました。また、西湘市民アクションは「9 の日行動」を 11 月 9 日に小田原駅前で 50 人が参加して行い、150 筆を集約。さらに、11 月 18 日には川崎市中原区の中原革新懇が武蔵小杉連絡通路で署名行動を行い、43 筆集約。12 月 9 日には横浜駅で共産党神奈川県委員会がヒバクシャ国際署名とあわせて宣伝行動を行いました。このように全国 3000 万人署名行動が県内各地で展開されています。



共産党畑野議員らも奮闘！

また、横浜市鶴見区で 11 月 29 日に「安倍 9 条改憲 NO! 市民アクション」として、太田伊早子弁護士、田崎基神奈川新聞記者を招いて学習会を開催。12 月 10 日には「安倍 9 条改憲 NO! 大和市民アクション」が高田健さんを招いて学習会を開催。さらに小選挙区 7 区（横浜市港北区・都筑区）の会が立憲民主党の中谷一馬議員の国会報告学習会を開催するなど、多様な形で憲法等についての学習会が開催されています。

さらに、宣伝行動は、桜木町駅前、小田原駅前、武蔵小杉駅連絡通路、横浜駅前など、県内各所で実施されています。12 月 16 日のユナイト・憲法共同センター合同宣伝での真山氏とあさか氏が一緒に訴えましたが、12 月 9 日の藤沢駅前「不戦の誓い」では立憲民主党の安倍知子議員、日本共産党の畑野君枝議員が挨拶するなど、市民と野党、野党共闘による宣伝行動が展開されています。

そして、12 月 10 日には、桜木町で「ICAN ノーベル賞おめでとうパレード」が行われました。

千葉 第 2、第 4 火曜日昼に千葉駅前にて街頭宣伝・署名

千葉県憲法会議の田村陽平事務局長は、3000 万人署名のとくくみについて、次のように報告していただきました。

全国 3000 万人署名については、千葉県憲法会議・共同センターを構成する各団体が目標を立てて取り組んでいます。千葉土建は職場、家族や友人、顧客にも裾野を広げ署名集めるとともに、取引先にも署名を要請しています。

憲法会議・共同センターでは、月 1 回程会議を行って、各団体の取り組みを確認しています。

宣伝行動では、第 2、第 4 火曜日昼に千葉駅前にて街頭宣伝・署名を行っています。構成団体から一名 5 分程度スピーチしています。毎回 20~30 筆集まっています。憲法会議・共同センターでは、毎回の宣伝後特徴的な反応を出し合って、次の宣伝に生かしています。

千葉市・緑区民の会行動 若い人たちの反応が強く、29 人の署名と 1 万円余のカンパ

千葉市・緑区民の会（戦争させない！9 条壊すな！総がかり行動・緑区民の会）は 17 日、JR 鎌取駅周辺で、「安倍 9 条改憲 NO! 3000 万の声を政府・国会に」と総がかり行動を行いました。

若い人たちの反応が強く、1 時間ほどで 29 人の署名と 1 万円余のカンパが寄せられました。近くのビルから署名を持って来た人もいました。

地域の草の根の 9 条の会、年金者、婦人、青年組織、市民連合など各団体・個人や政党から 28 人が参加。リレートークで協力を訴えると、師走の街のあちこちで対話の輪ができ、「寒い中がんばっていますね。ぜひ広げて」と激励の声がかかりました。